


 書道家
武田双龍

 先月の「綺麗な人・イカす人」珠玉の言葉
島田律子

×



第三十九筆

ピンチはチャンス

以前は「ピンチはピンチ」だったんですね。落ち込んだり、逃げたり、なんとか通りすぎないかな、と思っていました。でも、ある時「ピンチはチャンス」という言葉に巡りあって、すべてが変わったんです。そう考えることですごくチャンスをもたらえるようになりました。人生って、いいことばかりではない。必ず波があります。そういうたいへんな時にこれはチャンスだと思うことで、すごく救われますし、新しい自分の人生を開拓することができると思います。

武田双龍

書を頼まれる際、必ずしも字面の格好がつきやすい言葉や文字ではありません。その試練の連続が私を成長させてくれました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室「ふたばの街」を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>